



パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ: 全員参加で繋がりをより深めあおう

パワー浜松ロータリークラブ (2015-16年度 会長: 知久 武 幹事: 鈴木 尚孝)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC

第599回例会 10月13日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

●司会: 堀内善弘 村井睦彦 ●点鐘: 木村満義

●ゲスト: 東京工業大学名誉教授 塩田進様

米山記念奨学生 于春蘇さん

●議事: 職業奉仕PJ「エネルギーについて」

〈出席報告〉

会員数 76名

出席数 55名 出席率 77.63%

前々回出席率 85.89%

■会長挨拶 木村満義副会長



1年前に手に取った「やってみました!一日一食」「ダイエットは運動1割、食事9割」という2冊の本でダイエットを始め、成功しましたのでご紹介します。「やってみました!一日一食」では、ビートたけしさんやタモリさん、水谷豊さんなど、芸能界でも1日1食にしている人が沢山いるそうで、タモリさんは笑っていいとも8054回の中で体調不良で休んだことはなかったと書かれています。腹一杯食べる人よりも腹八分、できれば腹四分ぐらいの方が健康で長生きしている、ということで皆さんもやってみたらいかがでしょうか? 「ダイエットは運動1割、食事9割」は、著者の森拓郎さんというスポーツインストラクターが「運動しても痩せないよ」と言っているのに興味を持ち読んでみました。一言で言うと、バランスの良い食事を心掛けることで、人間の体のバランスもとれて自然と適正な体格になっていくということです。ダイエットのために新しく何かを始めると、大抵長続きしない。そうではなくて現在の生活自体に太る原因があ

るはずだからその原因を止めるように、生活習慣から引き算をしましょうと書いてあります。1つの参考になればと思い、ご紹介しました。

■幹事報告 鈴木孝尚幹事

・10月~12月会費の請求書をメールで送らせていただきます。振り込みの方は今月25日ぐらいまでをお願いします。

■委員会報告

職業奉仕委員会 長谷川隆是会員

10月25日の浜岡原発の見学会について、本日締め切りますが、まだ10名以上の空きがありますのでご希望の方はご参加よろしくお願ひします。

ロータリー財団 加藤恵司会員

次年度近藤年度で未来の夢計画を検討することになりました。11月10日のロータリー財団担当例会の時に、何か候補があればプレゼンをしていただくことになりましたので、希望者は来週の火曜日までに私加藤まで申し出てください。

■スマイル

職業奉仕PJ 一同

本日は元パワー会員でもいらっしゃる塩田進先生をお迎えして職業奉仕PJとしての担当例会を行わせていただきました。ご多忙中遠方よりお越し下さった塩田先生に改めて御礼申し上げます。有難うございました。

鈴木孝尚幹事

本日はお忙しい中、浜松までお越し頂き貴重なお話を頂き誠に有難うございました。久しぶりに塩田様とお会いし変わらぬお元気な姿を拝見し嬉しく思いました。パワー浜松に再入会いただけたら幸いです。

■ 議事

「エネルギーについて」

卓話者：塩田進

担当：職業奉仕PJ

パワー浜松を退会してから4年程経ちました。「原発に見学に行くから、話をしてほしい」と西尾さんから電話がありましたのでエネルギーについて話をします。私見は言いません。なぜエネルギー資源が必要なのか？質の良いエネルギー資源を取り入れていないとパワーが出ない。しかし廃棄物の問題があるわけです。質の良いエネルギーをどこから持ってくるか？太陽光や石化燃料、核燃料、地熱などの資源は天と地からの贈り物です。核燃料とは何か？地球創世時の放射能が次第に無くなってきている中で、カスとしてウラニウムなどがまだ残っているのです。我々が一番恩恵を受けているのは太陽光です。マキから石炭、石油、天然ガス、原子力と移ってきて、原子力はいくらでもあるが、しかし制御するのと廃棄するのが大変難しいので今、苦しんでいるのが実情です。

次に電気、電力の話です。電気というものが使えるようになったのはごく最近、1850年以降です。近代社会では、どの国地域でも電力がないと都市化や工業化が出来ない。経済成長するには電力を使っていくのが必須であります。電力を取り出すには、一度熱に変えて作るのが主流ですが、太陽電池、燃料電池は熱を経由しない。熱を経由しない直接発電が将来的は望ましいわけですが、太陽電池はまだ非常に効率が悪い。10%ぐらいです。熱を経由して発電する火力発電や原子力発電も効率が悪く、火力発電で40%くらい。原子力発電はもっと悪く30%以下で、システムが複雑なうえ70%は海に熱を捨てています。送電ロスで結局25%ほどになってしまいます。

原子力はほぼ一定の出力で運転しなければならないので、昼間の電力に合わせてと夜間は余ってしまいます。そこで夜間電力に合わせています。システムがものすごく複雑で、設備投資費がものすごく高い。逆に火力発電の設備は安いですが燃料が高い。ですから原発稼働の問題は設備のために借りた莫大な借入金返済をするための経営問題でもあるわけです。また、原発のコストが安いという試算がありますが、あれは現在の石油が10年後に倍になるという想定で試算されています。設備投資が高いのと、事故が起きた時には一企業が責任を持ってないということで、国の金を投入す

ることになってしまいます。本来それは資本主義社会では許されないのです。では、なぜ日本でこんなに原発が造られたのか？1973年と1979年のオイルショックの時に、石油が日本に入ってこなくなるという危機がありました。あの時に、電源の多様化ということをして国がやらざるをえなくなり、原子力発電を取り入れたわけです。国の主導で行ったので、税金を使いました。原子力発電というのは国家のエネルギー安全保障という観点から行われてきたわけです。これからどうするかを考えなければいけないのですが、実は原発と原子爆弾とは裏表なのです。アメリカから安い濃縮ウランを買っているが、軍事との関係が密接で平和目的なのか軍事目的なのかが曖昧です。また、ドイツは原発をやらないと言っているがフランスから原発による電気を買っているのではないかとされていますが、調べてみるとほんのわずかな量です。その点も誤解されています。エネルギーに関しては、断熱材など省エネをしっかりとすることが大切です。産業革命以来、世界的な人口増加という大変な問題もあり、ただ原子力が火力かというような問題ではないように思います。



質疑応答

福地：「水素ガスとメタンハイドレードは将来的にどうか？」

塩田：水素ガスをどうやって作るか、冷凍倉庫で余った水素などを使うなら良いが、天然ガスから水素を造るのでは何をやっているかわからない。太陽の光から水素ガスをつくるまでいけば本物。メタンハイドレードは技術的には出来るがコストの壁がある。

堀内：「個人としてエネルギーをどう考えるか、ご提言をいただきたい。」

塩田：省エネルギーをしっかりとやっていくことが大切。家の断熱が効果的。浪費をしないことです。